

経営一転語 84 目標はそのとおりにいかないから役に立つ

目標とは、手に入れたい成果です。だからそのとおりにいくことが望ましいに決まっています。

しかし、現実には厳しく、なかなかそのとおりにはいきません。そこでそのとおりにいかないから目標など立てても無駄だと思っははいけないのです。

目標なくして、厳しい経営の舵取りなどできるはずもないのです。そして、目標は、企業が生き残るための条件でもあります。

まず、目標を立てて、実行します。そして、多くの場合、目標と実績には差が生じます。

その目標と実績の差は、自分がいかに客観情勢を見誤っていたか、自分の実力の認識がいかに間違っていたかを示すものです。

自分の見込み違いが、はっきり分かってこそ、軌道を修正し、自分の認識を修正し、正しい経営の舵取りができるのです。

だから、目標はそのとおりにいかないから役に立たないのではなく、そのとおりにいかないからこそ役に立つことを知らなければいけません。

<演習課題>

1. 来期の目標を立ててみましょう。
売上、売上原価（仕入）、各経費、利益など